市民のひろば

掲示板

◆一緒に演奏を楽しみませんか

「かほく音を楽しむ会」は、昨年11月に香美市基幹集落センターで演奏会を開催し、ご来場の方と出演者で一緒に楽しみました。

香北地区にお住まいで楽器演奏の機会が少ない方、私たちと一緒に演奏会に出て音楽を楽しみませんか♪

第2回となる演奏会を今年11月に予定していますので、参加をご希望の方は、7月末までにご連絡ください。

【問い合わせ先】かほく音を楽しむ会（武内）☎090・4782・3556

▶昨年の演奏会のようす

◆山田小学校創立150周年記念式典＆大同窓会

香美市立山田小学校は、今年で創立150周年を迎えます。この節目の年に、全卒業生を対象として、山田小学校の歩みを振り返る記念式典と、参加者全員での大同窓会を開催します。卒業生はぜひご参加ください！

【日時】11月2日（土）16時～

【場所】香美市立山田小学校

【参加方法】卒業年度ごとに学年幹事がいますので、事前にチケットの購入をお願いします。

※学年幹事がわからない場合は、お問い合わせください。

【会費】5000円

※会費の一部は、学校前庭の時計台の寄贈費用に充てられます。

【問い合わせ先】ピッコロフェリーチェ（上島）☎52・3987

（山田高校マンガ部）

おたんじょうびおめでとう

今月満1～3歳の誕生日を迎えるお子さんを紹介します。

ご応募をおまちしています

©やなせたかし ゆずぼうや

※㊏は土佐山田町、㊍は香北町、㊊は物部町です。

申し込みは誕生月の前月1日まで。
問 総務課 ☎53－3112

第171回 かみかみクイズ

A．香北町の恒例行事として親しまれている「川上様夏祭り」は、毎年7月●●日に開催されています。

B．熱中症警戒●●●●が発表された時は、不要不急の外出を避けるなど、いつも以上に熱中症の予防行動を実践していきましょう。

今月の賞品

全問正解者の中から抽選で、2名様に贈呈！

韮生の里 美良布直販店 詰め合わせセット（ゆずかりんとう、野草茶、ハーブシロップなど）

※内容が変更となる場合がありますので、ご了承ください。

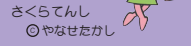
さくらてんし ©やなせたかし

応募方法

ハガキまたはEメールで①クイズの解答②住所③氏名④日中に連絡がとれる電話番号⑤誌面の感想を記入のうえ、応募してください。

■応募締切　7月31日（水）必着

■あて先　〒782－8501（住所記載不要）香美市広報委員会事務局かみかみクイズ係

kamikami@city.kami.lg.jp

問題A、Bの●●にあてはまる答えを書いて応募しよう♪
正解は、今月号の誌面のどこかにあります。
※応募は1人1通まで
※当選者は誌面で発表させていただきます。

第169回当選者　高瀬宏さん・大石典子さん・山﨑佳子さん（応募総数14通）

第170回の解答　A．ストック　B．56

新 暴れ川「物部川」 香美史探訪記

高知県中東部は歴史で見ても、梅雨後期の集中豪雨や夏から秋にかけての台風などで、全国的にも水害・風害の多い地域である。南に開けた地形であるため致し方がない。

人類の定住が始まった頃、高知平野は大きな入江に島が散在する景色で、石器時代や縄文時代早期には人口が僅少であったことは、発見される遺跡の数で分かる。弥生時代になって急速に農業集落が発達し、人口が急増を始める。

南国市田村の弥生遺跡「田村遺跡」は、物部川の大洪水で村を放棄し、高台に移住したものらしい。舟入川は、物部川の一支流を活用した水路であろう。この水路は、江戸時代よりも相当に古い時代から使われていたようである。

物部川の歴史は、地名がよく教えてくれる。井ノ口村(談議所)、山田島、戸板島、蔵福寺島、南国市日章地区は、以前の村を三島村という。四本の川と三所の中州で村を形成していたと考えられる。本流は西側にあったのであろう。岩積村は、洪水に備えた石積み堤防が村名の起源と考えられる。長宗我部氏の時代、戸板島は佐古分であった。

町田分の田が右岸に散在するのは、現在の流路が新しいことを示したものではないだろうか。

弥生時代以降、香長平地を縦横勝手に流れていたようである。現在から隆起数㍍ほどを考えないといけない。平安時代末、紀貫之が都への帰路、大湊へ入港したと記録がある。高知市東部か浜改田あたりらしいが、その地名から物部川河口湊の可能性がある。江戸期、山田堰は野市井に取水できなくなった記録があり、これも隆起が原因であろう。江戸時代初期から川のコントロールが始まり、流路が固定され、戦後の物部川は大きな3つのダムで制御されるおだやかな川となったが、時に荒々しい暴れ川となることも忘れてはならない。

1750年頃、第5代藩主山内豊房の時に「鏡川(香我美川)」は「物部川」へ変更された。物部川の恩恵は変わらない。この恩恵を受ける者は、源流域への配慮や感謝を忘れてはならないであろう。

（香美市文化財保護審議会・岡村）

▶「平成30年7月豪雨」時に香我美橋（土佐山田町神母ノ木）から撮影した物部川。その水位は、橋桁にも及びそうなほどの勢いであった。

ただいま留学中 No.205

黄城美（ホワン・チェンメイ）
中国／広西チワン族自治区

私は高知工科大学の博士後期課程、認知神経科学研究室に所属するホワン・チェンメイです。ベトナムと国境を接する広西チワン族自治区の南端、北海市の出身です。私の地元は美しい海岸都市で、古代の海のシルクロードの出発点として、また、中国で最も早く外国貿易が行われた港の一つとして知られています。

私が日本に来ることを決めた理由は、私の指導教員の研究活動に感服し、研究グループで使われる先進的な設備に憧れたからです。日本はさまざまな面で私の期待を上回っていました。完璧なインフラ、特に廃棄物管理システムと公衆トイレには驚かされ、無臭のゴミ処理機や清潔なトイレは、意外な見どころでした。

香美市での生活は楽しく、静かな自然環境は安らぎをもたらしてくれます。私はほとんどの時間をキャンパスで過ごしており、特に大学の図書館は、実りある勉強をするのに役立つのでとても気に入っています。

高知での7カ月間を振り返ると、私はいろいろなことを体験し、文化に触れることができました。そして、そのことをとても大切に感じています。高知の郷土料理を楽しんだり、伝統的な行事に参加したりするたびに、日本文化への理解が深まり、香美市の皆さんとのつながりも強めてくれます。

▶大学のキャンパスにて

▶桂浜龍王岬展望台から太平洋を望む